

# 理数好き教員 養成へタッグ

宮城教育大（仙台市青葉区）と仙台市天文台（同）が1日、教育分野での連携を強化するため「連携協力に関する覚書」を取り交わした。理数教育に強い「スペーススラボ in 仙台市

## 「星や宇宙入り口に」

教員の育成が期待されるほか、教員や学生らによる市天文台支援がより拡充される。

宮教大と市天文台は、これまで市天文台への学生ボランティア、幅広い交流を図る。

イア派遣や宮教大への講師派遣で連携してきた。覚書締結により交流が一層進む。

連携の一環として宮教大は「スペーススラボ in 仙台市

天文台」と題した宇宙に関する実験教室を9月から毎月1回程度開催する。芸術系教員らによるロビーコンサートも予定している。

## 協力に関する覚書締結式



覚書に調印して握手する高橋学長（左）と土佐台長

市天文台は、博物館実習を履修する宮教大の学生2人を8月に受け入れる。

市天文台で開かれた締結式で宮教大の高橋孝助学長は「学生の理数系離れを止め、理数好きの先生を養成できる場所として交流を深めていきたい」と述べた。市天文台の土佐誠台長は「小学校の先生を目指す学生は文系の人も多く、理科に触れ合う機会が少ない。理科の入り口として星や宇宙は入りやすいと思う」と話した。